

平成7年4月 第36号

知床の森から

北見営林支局 知床森林センター

〒099-41 北海道斜里郡斜里町本町11番地
☎ 01522-3-3009 FAX 01522-3-3160

弥生・知床の森スキー行

～服装華やか みんないい顔～

行きの車中♪「あなたスキーいけるんでしょ」「からつきし駄目」「わたし不安だな」「だいいじょうぶよ 教えてあげる」
♪「雪多いんだってさ」「降ったもんねえ先月」「森あるのかな」「雪の下かもネ」
♪「子供さんもご参加ネ」「たのしい味方」「頼りにしよう」「キャンディもあるし」



コース前半♪「こんな木3本で家一軒建つって」「太いもんナー」「材余るかなア」「エ?」「犬小風用よ」
♪「キヤー止まらーン」「転んでエー」「ハーイ」「ほんとにコケてる」
♪「湧き水みたいネ」「ほんとだ 水に被がよってる」「顔見ないで」
♪「鹿の多い森だなあ」「木ずいぶん食われてる」「角生えるわけだ」「なんでエー?」
♪「熊の爪あと」「木に登るのネ」「熊も木から落ちる…かな?」「…食べ過ぎたら?」
昼食テント♪「お腹ベコベコ」「そうは見えんけど」「コラ!」
♪「豚汁お代わりしてって」「どうしようかなア」「悩むわけ?」
コース後半♪「見えたア 流水大平原」「苦勞の甲斐がありました」「ご苦労さま…」
♪「オヒョー」「これコレ?」「そう 正解です」「太い!ドガつくワ」「ドニレ…?」
帰りの車中……グーグー……

今回の記録

※第25回「森林レクリエーション・In知床」
『歩くスキー-早春の知床ウオッチング』

※主催 知床森林センター
※3月10日(金)・11日(土)
※総参加者45名 北見市・網走市・留辺瀨町・斜里町・清水町より
※年齢構成9才～81才、男女比1:2
※場所376・377林班旧道沿いの森林 コース延長 約5km
※紹介ポイント 15

Oh!感動

ナニワス群れて咲く



クマイザサの侵入を嫌う植物は多いが、このナニワスもその一つ。知床の森はササが多く、ササがなくてもナニワスが咲いているとは限らない。そして香解けを持って森に入る頃はもう花が終り、ということがよくある。今年、黄色い花びらを強く閉ざしたナニワスの群落を偶然見つけた。この花積雪の中でつぼみを付けている。厚い雪に打ちひしがれて横たわっていたが、やがて立上がり4月下旬から群やかに満開となった。この花、硬質な花びらを持つフクジュソウと異なり、優しそうな風情で香りも良く綺麗な花だ。
(木本 ジンチョウゲ科)

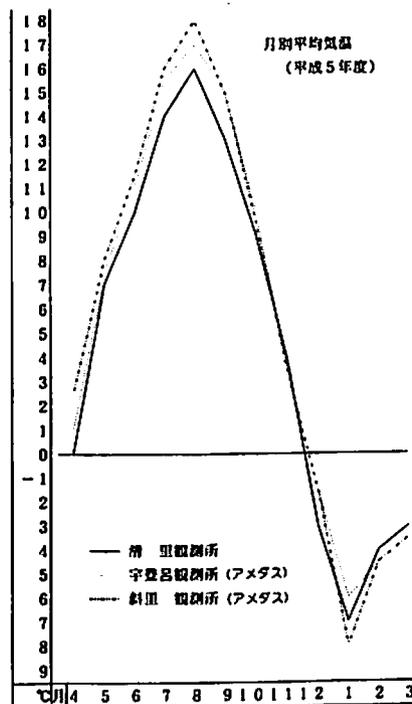
平成7年度 イベント・ガイド計画

新年度のセンターの普及業務のうち、イベント・ガイド実施計画は以下のとおりです。

- イベント ◆森林レクリエーション In知床
公券方式で四季を通じ年4回4日間
- ◆森とのふれあい(森林教室)
公券方式で夏期1回1日
- ガイド ◆知床・森林ものがたり
春～秋にかけ10回予定 2～6名の小グループ単位 自然観察教育林で自然観察・知床硫黄山新噴火口登山
- ◆森林利用ガイド
春～秋 団体を受付けます。

データは語る … [①気温]

～やはり低い森林帯の気温～



知床森林センターがおこなっている気象観測(左図の清里観測所)のうち、気温について平成5年度のアメダステーダと比較を試みた。アメダス宇登呂観測所は、北東に突出する知床半島のほぼ中間にあり、やや海の影響を受け、アメダス斜里観測所は知床半島の基部に近く、潮害防備保安林に守られた平野部である。清里観測所は両アメダスのやや中間にあって、オホーツク海から約5km内陸の国有林内で標高240m地点である。以下左図を読んでみる。

- 4月から11月にかけ、森林帯の気温は両アメダス地点と比べ低い。これは日照量、フエ現象などが森林のクッション作用でセーブされるせいと思われる。
- 11～12月の3観測地点の気温差は小さい。1年のある期間・海・平野とも類似気温があるのだろうか。
- 12月から2月は3観測地点で気温が交錯する。流水のおとずれ、放射冷却現象、降雪が気温を変動させている。
- 観測地点に標高差があり、この差をどう解釈するかで森林帯の気温が左図でも多少変動するが、概して森林の気温は低い傾向を示す。
- アメダス観測地点と清里観測所の、データ間の相対的な傾向を把握することで、今後アメダステーダを国有林の一定区域の森林気象を知る上で活用していくことができる。

★平成5年は同月の多い年で冷夏であった。

3月1日付で人事の異動がありました。

知床森林センター4代目所長に、北見営林支局より太田賢司技官が就任しました。新所長以下職員一同今年も元気です。今後ともよろしくお願いたします。